

にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略検証委員会〔第4回委員会〕

日時：令和3年7月29日（木）午前10時から

場所：うるおい館 イベントホール

【委員からの主な意見】

委員名	内 容
岩井委員 〔アイシン・メタルテック〕	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響は大きい。 ・観光や移住に関する取組みは良くPRしていると感じる。 ・是非、入善ブランドを創出してほしい。
大沼委員 〔みな穂農業協同組合〕	<ul style="list-style-type: none"> ・町外から町内の営農組織に勤務している人も多い。 ・そのような人を認定農業者に育成できないか。
飯田委員 〔入善漁業協同組合〕	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児休業など、役場が率先してワークライフバランスの実現に取り組んでほしい。
本多委員 〔入善町商工会〕	<ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業を促しているが、廃業が進んでいる。 ・令和5年からインボイス制度がスタートし、さらに廃業が進むことが懸念される。 ・事業承継に対する支援制度や金融機関との連携などにより、事業所数を維持していきたい。
小杉委員 〔いいの保育所〕	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所から子育ての楽しさを発信し、出生数の増につなげていきたい。
上島委員 〔桃李小学校〕	<ul style="list-style-type: none"> ・桃李小学校に富山市から親子6人で移住してきた子どもがいる。 ・子育て支援の充実が移住の決め手だったと聞いている。 ・このような事例も踏まえて、町の取組みをしっかりとPRして行ってほしい。 ・ふるさと教育の取組みを切れ目なく進めていきたい。
上野郁委員 〔入善中学校〕	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体性を引き出す教育を進めていきたい。 ・将来どんな町にしたいなど、子どもたちが夢を語る場を創出していきたい。 ・成人式でまちづくりの提言をさせてみてはどうか。

委員名	内 容
谷川委員 〔北陸銀行〕	<ul style="list-style-type: none"> ・せつかくの町の魅力が十分に伝わっていないと考えられることから、情報発信にもっと工夫が必要である。 ・ふるさと納税をツールに情報発信してはどうか。
大村委員 〔富山第一銀行〕	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会青年部をはじめ、入善町の若者は入善町を支えようとする気持ちが強く感じられる。 ・朝日町は移住者などの意見を良く取り入れている。 ・人口が増加しなくても生き残ることができるまちづくりが必要である。
上野貴委員 〔富山銀行〕	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の状況を危惧している。 ・今後は外国人の受入れも重要ではないか。 ・成人式は3月開催でも良いのではないか。
神子沢委員 〔おあしす新川〕	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材の確保が厳しい状況である。 ・賃金を含めた処遇改善を進めている。 ・配偶者の扶養の範囲内で働くという人が予想以上に多く、一人当たりの勤務日数が少なくなり、結果的には人材が不足するという問題もある。
浦田委員 〔入善町社会福祉協議会〕	<ul style="list-style-type: none"> ・個人向けの緊急小口資金の貸付を行っており、令和2年度は新型コロナ対応もあって多くの無利子融資を行った。 ・その4分の1が外国人であり、「読み」「書き」ができない人も多い。 ・このような外国人に日本語教育を行うことができれば、雇用にもつながるのではないか。 ・引きこもり対策が必要である。
米澤委員 〔入善町区長連絡協議会〕	<ul style="list-style-type: none"> ・観光は点ではなく線で捉えて進めるべきである。 ・ふるさと納税をうまく活用して移住・定住を促してみてもどうか。
魚津委員 〔北日本新聞社〕	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナへの対応からの教訓を活かして、様々な取組みの見直しをすることも必要である。

委員名	内 容
米原委員 〔入善町P T A連絡協議会〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民が知らない取組みもたくさんある。 ・ 新しい方法も研究しながら、もっと町民に情報提供すべきである。 ・ P T Aとして子どもたちや若者に町の魅力発信ができないか考えていきたい。
中川委員 〔J Aみな穂青壮年部〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地が集積するということは、一方で農業をやめる人がいるということでもあるということも意識すべきである。 ・ 「農」「商」「校」「福」連携事業は良い取組みであり、今後も継続していきたい。 ・ ふれあいトークに参加する機会があり、町長と直接話し合うことができる大変有意義な場であると感じた。 ・ そういう場をもっと増やしていくべきである。
永井委員 〔入善町商工会青年部〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入善町を知ってもらいたい、来てもらいたいという思いをもって、いろんなイベントを開催している。 ・ イベントをとおして入善町を知ってもらい、移住につながった例もあり、やりがいを感じている。
村田委員 〔入善女性団体連絡会〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア団体などでも高齢化が進んでおり、脱会者も増えている。 ・ 児童・生徒や保護者、事業所などにも積極的にボランティア活動に参加してほしい。 ・ 若い世代の人は自分の生活水準を下げたくないという考えから、子育てが経済的な負担になると感じているようだ。 ・ 新型コロナ対応として町外に暮らす学生などにパックご飯を支援した事業は良かった。 ・ このような取組みが将来のUターンにもつながると思う。
濱委員 〔にいかわ信用金庫〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会や合宿の誘致など、スポーツによるまちづくりを進めてはどうか。 ・ 事業者が収益を上げることができるよう、様々な支援も含めたコンサルティングのような事業ができないか。